

SUPPLEMENT TO GENES GENET.SYST.(2017)92(6) December 2017

GSJ

コミュニケーションズ

PROCEEDINGS OF THE SOCIETY





目 次 頁

2018年度日本遺伝学会年会費ご納入のお願い 3

大会ニュース（その2） 4

お知らせ 5

日本遺伝学会木原賞および奨励賞候補者推薦のお願い 6

2018年度日本遺伝学会木原賞候補者推薦書 7

2018年度日本遺伝学会奨励賞候補者推薦書 9

第17回遺伝学談話会報告 11

本 会 記 事

会員異動 12

2018年度日本遺伝学会年会費ご納入のお願い

平素より皆様には日本遺伝学会の発展に対し、いろいろとご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2018年度日本遺伝学会年会費を、下記郵便振替口座までご納入下さいますよう、よろしくご願いたします。なお、年会費のご納入をクレジットカードにてお支払いいただく場合、ご利用方法の詳細を学会 HP の各種手続きをご参照くださいますようお願いいたします。

普通会員 2018年度年会費 10,000円

(注) 定年退職して常勤職でなくなったことを申し出た場合は6,000円

普通会員 (学生) 在学証明書またはそれに代わるものを提出したときは初年度の会費を免除し、2年目以降は3,000円

(注) 普通会員 (大学院) の方は、振替用紙の通信欄に、指導教員の署名が必要です。

シニア会員 永年会費 30,000円

(注) シニア会員の方は、以降の会費納入は不要です。

準会員 2018年度年会費 2,000円

(注) 高等学校等の教育機関の教員および大学学部生の方。学部生は振替用紙の通信欄に、指導教員の署名が必要です。

●郵便振替の場合

口座名義 日本遺伝学会

口座番号 00890-1-217316

●他の金融機関 (ATM) から、ゆうちょ銀行の口座へ振込・振替をされる場合

***** 他金融機関からの振替口座番号 *****

・店名 ○八九 (ゼロハチキュウ)

・預金種目 当座預金

・口座番号 0217316

*お手数料に420円かかります。

日本遺伝学会第90回大会ご案内

先にご案内しましたように、本年度の大会は奈良先端科学技術大学院大学を会場に開催されます。国際シンポジウムの共同開催などのために、同大学バイオサイエンス領域との共催となります。

会 場：奈良先端科学技術大学院大学（〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916の5）

会 期：2018年9月19日（水）、20日（木）、21日（金）、22日（土）

企 画：一般講演（口頭発表） 9月19日（水）午前

20日（木）午前

21日（金）午前

ポスター発表* 9月20日（木）午前・午後

ワークショップ 9月19日（水）、20日（木）、21日（金）

国際シンポジウム 9月19日（水）午後、21日（金）午後

プレナリーワークショップ 9月20日（木）午後

ナイトゼミ（懇親会）** 9月19日（水）夕方

総会・受賞講演会等*** 9月20日（木）午後

市民公開講座 9月22日（土）午後

その他、男女共同参画ランチョンセミナー、シニアレクチャーを予定

* ポスター発表は学部生、修士院生、シニア会員が発表できます。

** ナイトゼミナールを大会初日に懇親会を兼ねて行います。奈良国立博物館地下の会場までチャーターバスで移動します。分野別に懇談できるように工夫しますので、学生会員も奮って参加してください。

*** 優秀ポスター賞の発表と表彰も行います。受賞講演会終了後には、会場ホワイエで簡単なレセプション（無料）を開きます。受賞者との懇談、会員同士の交流に利用してください。

申し込み：参加と講演の申し込みは例年通りホームページからとします（6月1日より）。

講演申し込み・要旨受付締め切り 6月30日（土）

事前参加の申し込み締め切り 7月14日（土）

ナイトゼミナールの会場の収容人数に限りがありますので、できる限り事前申し込みをお願いします。当日参加の可能人数については大会前にホームページなどで伝えます。

【第90回大会参加費、ナイトゼミ参加費】

	事前登録（7月14日まで） 8月7日までにお振り込みください		当日登録	
	参加費	ナイトゼミ 参加費	参加費	ナイトゼミ 参加費
一般会員	8,000円	4,000円	9,000円	5,000円
学生会員	無料	1,500円	無料	2,000円
一般非会員	10,000円	5,000円	11,000円	5,000円
学生非会員	無料 (予稿集は当日実費販売)	4,000円	無料 (予稿集は当日実費販売)	4,000円

- *事前参加申し込みの方は、添付の払込取扱票を使用して、郵便振込をお願いします。
- *大会参加費、ナイトゼミ参加費を郵便振込される場合は、払い込まれた方が特定できるように一人1枚ずつ別々の払込取扱票をお使いの上、通信欄にチェックと登録番号を記入してください。

★ワークショップへの応募は締め切りました。ご応募いただきありがとうございました。
詳細は随時下記大会 HP でご案内します。

【大会 HP】 <https://sites.google.com/site/gsj90am/>

皆様には是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日本遺伝学会第90回大会実行委員会
大会委員長 真木寿治（奈良先端科学技術大学院大学）
連絡先：日本遺伝学会第90回大会事務局
E-mail: gsj.meeting.nara@gmail.com

お知らせ

平成30年度
科学技術分野の文部科学大臣表彰
若手科学者賞を
村山泰斗会員が
受賞されました。



日本遺伝学会木原賞および奨励賞候補者推薦のお願い

下記の規程に添って2018年度木原賞および奨励賞候補者推薦をお願いします。

【推薦書作成要領】

本誌に掲載された様式に従って作成してください。なお、同様式は遺伝学会ホームページからダウンロードしていただけます。いずれも用紙はA4判を使用して下さい。

(木原賞) 候補者の主な発表論文のリストを別紙にて作成し、うち主要な論文5編3部ずつを郵送して下さい。また、候補者推薦書ファイル、業績リストファイル、論文のPDFファイルをメールの添付ファイルにてお送りください。

(奨励賞) 1. 候補者の主な発表論文のリストを別紙にて作成し、うち主要な論文2編3部ずつを郵送して下さい。

2. 自薦の場合も同様式に従って作成して下さい。

(2010年から年齢制限はなくなりました)

また、候補者推薦書ファイル、業績リストファイル、論文のPDFファイルをメールの添付ファイルにてお送りください。

【提出期限】

2018年5月18日（金）必着

提出先：〒411-8540 三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内
日本遺伝学会 Tel & Fax 055-981-6736

日本遺伝学会会長 小林 武彦

電子ファイル送付先：Email: japgenet@nig.ac.jp

*なお、木原賞および奨励賞の受賞者には当学会誌 *Genes & Genetic Systems* に英文総説の執筆と、その年に開催されます大会で受賞記念講演をお願いしております。

日本遺伝学会学会賞および奨励賞に関する規程（抜すい）

(目的)

遺伝学の進歩を促し、すぐれた研究業績を一般に知らせるために学会賞および奨励賞を設定する。

(賞の種類)

1. 日本遺伝学会木原賞
遺伝学の分野ですぐれた業績をあげた者（原則として会員）に授与する。
2. 日本遺伝学会奨励賞
遺伝学の特定の分野ですぐれた研究を活発に行い、将来の成果が期待される会員に授与する。

(賞の内容)

1. 日本遺伝学会木原賞
賞状、メダルおよび副賞としての賞金からなる。
2. 日本遺伝学会奨励賞
賞状および副賞としての賞金からなる。

(賞の選考)

賞の選考は下記に定められた選考委員会と選考方法によって行う。

1. 選考委員会
全会員を対象として評議員会により選出された若干名と、これに会長が加わり、選考委員会を構成する。会長以外の選考委員は任期を2年とし、連続して2期（4年）をこえ選考委員としてとどまることはできない。選考委員会の委員長は会長がつとめるものとする。
2. 選考方法
会員から推薦された候補者について選考委員が慎重に審査を行い、受賞者を決定した上で評議員会の承認を得るものとする。日本遺伝学会木原賞受賞者については原則として毎年1名とするが、適当な候補者がいない場合は授賞は行わないものとする。
日本遺伝学会奨励賞については毎年2名以内を選ぶものとする。

附 則

昭和57年11月20日	日本遺伝学会総会承認
昭和60年10月14日	一部改正
昭和63年2月6日	一部改正
1989年10月14日	一部改正 日本遺伝学会総会承認
1992年10月23日	一部改正
2005年4月4日	一部改正
2009年9月17日	一部改正 日本遺伝学会総会承認

2018年度日本遺伝学会木原賞候補者推薦書

2018年 月 日

推 薦 者	
(ふりがな) 氏 名	印
職 名	
連 絡 先	〒 TEL: FAX: E-mail:

受 賞 候 補 者	
(ふりがな) 氏 名	(西暦) 年 月 日生
職 名	
連 絡 先	〒 TEL: FAX: E-mail:

【略 歴】	
-------	--

2018年度日本遺伝学会奨励賞候補者推薦書

2018年 月 日

推 薦 者 (自薦の場合、職名、連絡先は不要)	
(ふりがな) 氏 名	印
職 名	
連 絡 先	〒 TEL: FAX: E-mail:

受 賞 候 補 者	
(ふりがな) 氏 名	(西暦) 年 月 日生
職 名	
連 絡 先	〒 TEL: FAX: E-mail:

【略 歴】	
-------	--

【遺伝学会における活動歴】	
---------------	--

受賞候補者（ ）氏の推薦理由等	
研究題目	(和文)
	(英文)
【推薦理由】	
<p>(紙面不足の場合は別紙 [A4 判] に記載し、添付して下さい)</p>	

注：(1) 候補者の主な発表論文のリストを別紙（紙はA4判を使用）に掲載し、うち主要な論文2編3部ずつを郵送して下さい。ここに示した推薦書に必要な情報が記載してあれば、用紙（A4判）は別紙でも結構です。

(2) 自薦の場合もこの用紙を使ってください。

提出期限： 2018年5月18日（金）必着

提出先： 〒411-8540 静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内 日本遺伝学会
TEL & FAX 055-981-6736

第17回 遺伝学談話会報告

日 時：2018年3月3日13：30～15：30

場 所：近畿大学農学部教室棟101教室

第17回遺伝学会談話会は関西地区評議員の佐渡が世話人として、奈良市・近畿大学農学部キャンパス内で開催されました。今回は、生物の多様性形成に深く変わる減数分裂期の組換えやトランスポゾンの転移について、パン酵母やイネを用いて精力的に研究を展開されている近畿大学農学部の篠原美紀先生と築山拓司先生にご講演いただきました。

最初の講演は篠原先生による「減数分裂期の必然としての配偶子の遺伝的多様性創出メカニズム」でした。篠原先生はDNAの組換え・修復の専門家で、最近ではがん医療を見据えたゲノム編集技術の開発などもされています。本講演では、大学院時代から続けられている出芽酵母における減数分裂期のDNA二重鎖切断の制御、その後の交差型組換えや組換え修復機構について、教科書レベルの基本的なことから現在進められている最先端の研究までを熱く語っていただきました。J. WatsonのMolecular Biology of the Geneに取り上げられている彼女の成果をもとにした組換え機構のモデルやその後の彼女の研究から明らかになってきたこのモデルに関する記述の改訂すべき点などについてもお話しいただきました。聴講に来ていた近畿大学の学生にとって、身近な先生の研究が有名な教科書にも記載されようという重要な研究であることを知るのには、その分野の研究をより身近に感じ、より一層の好奇心を掻き立てられるとともに、自分もいつかそういう研究をしたいと自らを鼓舞するよい機会になったのではないかと学生たちを見ていて感じました。



このあと築山先生に「転移因子がゲノムとの進化的軍拡競争におい

て獲得した転移機構」と題して、イネのトランスポゾンについてお話しいただきました。築山先生は育種の観点から、トランスポゾンを用いた品種改良の可能性を検討するためにイネで見出されたDNA型トランスポゾンである *mPing* を用いて研究されています。講演では *mPing* の転移の機構の他、組織や発生段階による *mPing* の活性の違い、*mPing* の挿入部位の偏向性などについてDNAメチル化などエピジェネティクスとの関連も含めてお話しいただきました。特に、*mPing* がプロモーター領域に挿入される傾向が高いことに着目し、転移の結果ストレス応答性遺伝子の発現が変化したようなものを選抜することで品種改良に応用するという話は、トランスポゾンの転移機構のような基礎研究の可能性を理解してもらうのに良かったのではないかと思います。

講演会の開催が学生の春休みであったこともあり、参加者は40名程度とこれまでの遺伝学談話会に比べやや少なかったかもしれませんが、しかし、どちらのご講演においても予定していた時間を超過するほどのたくさんの質問がでる盛り上がりで、それぞれの先生にはその一つ一つにご丁寧にお答えいただけましたので、みなさん満足されていたのではないかと思います。篠原先生と築山先生の興味深い講演のおかげで、大変素晴らしい遺伝学懇談会になりました。(佐渡 敬)



◆ 会 員 異 動 ◆

新入会・再入会

坪 内 英 生	152-8550	東京都目黒区大岡山2-12-1 M6-11 東京工業大学 科学技術創成研究院 岩崎研究室
石 黒 啓一郎	860-0811	熊本県熊本市中央区本荘2-2-1 発生研304室 熊本大学 発生医学研究所
橋 口 一 成	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学 機能生物化学講座 生化学分野
海 藤 晃 弘	005-8601	北海道札幌市南区南沢5-1-1-1 東海大学・生物学部

(連絡先自宅のため不掲載)
瀬戸輝幸, 杉 拓磨

休 会

毛利亘輔

退 会

刑部正博, 山元大輔, 虎沢慶太, 河村瑳友, 能登原盛弘, 戌亥 海, 村上日向, 高橋俊樹, 長岡春菜, 五十嵐健人, 岸本妙子, 鈴木睦昭, 八木孝司, 若菜茂晴, 上田高嘉, 山本真司, 福村龍太郎, 西巻拓真, 田口尚弘, 関 亮平, 早川 浩, 新見夕姫, 酒井隆至, 川本 芳, 谷山暢子, 足立 隼, 玉手英利

寄贈図書・交換図書

科学	Vol. 88	No. 1-4	(2018)
CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES	Vol. 47	No. 6	(2017)
	Vol. 48	No. 1	(2018)
ChineseJournal of nature	Vol. 39	No. 4-6	(2017)
ChineseJournal of APPLIED & ENVIRONMENTAL BIOLOGY	Vol. 23	No. 5-6	(2017)
Advances in Manufacturing	Vol. 5	No. 3-4	(2017)
統計数理	Vol. 65	No. 2	(2017)

日本遺伝学会会則

- 第1条 本会は日本遺伝学会と称する。
- 第2条 本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及を計ることを目的とする。
- 第3条 本会は事務所を静岡県三島市谷田、国立遺伝学研究所内におく。
- 第4条 本会に入会しようとするものは住所、氏名および職業を明記して本会事務所に申し込むこと。
- 第5条 本会会員は普通会员、シニア会員、準会員、機関会員、賛助会員および名誉会員とする。65歳以上の普通会员は申し出によりシニア会員に資格変更できる。準会員の資格は大学学部生および高等学校等の教育機関の教員であることとする。毎年普通会员は会費10,000円（ただし在学証明書またはそれに代わるものを提出したときは初年度の会費を免除し、2年目以降は3,000円とする。定年退職して常勤職でなくなったことを申し出たときは6,000円とする。Genes & Genetic Systems の印刷体の送付を希望しない場合には会費を500円減額する）を、準会員は2,000円を、機関会員は15,000円を、賛助会員は1口（20,000円）以上を前納すること。シニア会員は資格変更の際に30,000円の永年会費を納入することとし、以降の会費の納入は免除する。普通会员および準会員が休職および海外留学をする期間を休会とすることを申し出たときは会費を免除する。なお、シニア会員及び準会員は、会長および評議員の被選挙権を有しない。会員で会費滞納1年におよぶものは資格を失うものとする。
- 第6条 本会は次の者を総会の決議により名誉会員にすることができる。
本会に功労のあった者、外国の卓越した遺伝学者。
- 第7条 本会は隔月1回 Genes & Genetic Systems を発行する。印刷体は機関会員、賛助会員および希望する普通会员に配布する。
- 第8条 本会は毎年1回大会を開く。大会は総会と講演会とに分け、総会では会務の報告、規則の改正、役員の選挙および他の議事を行い、講演会では普通会员、シニア会員、準会員および名誉会員の研究発表をする。
大会に関する世話は大会委員若干名によって行い、大会委員長は会長が委嘱する。大会は臨時に開くことがある。
- 第9条 本会は各地に談話会をおくことができる。
- 第10条 本会は会長1名、幹事若干名、会計監査2名の役員、および評議員若干名をおく。
1) 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
2) 会長は、評議員が全普通会员の中から選出した複数の候補者から普通会员による直接選挙によって選出される。
3) 評議員は、普通会员による直接選挙で選出される。
4) 幹事は、会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される。
5) 会計監査は、会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される。
6) 会長は評議員会を招集し、その議長を務める。幹事は評議員会に出席するものとする。
7) 評議員会は会員を代表して、事業計画、経費の収支、予算・決算、学会誌の発行、大会の開催、その他重要事項について審議し、出席評議員の過半数をもって議決する。
8) 会長ならびに幹事により幹事会を構成し、会長がこれを代表する。
9) 幹事会は、学会の関連事項を論議し評議員会に諮ると共に、会務を執行する。
10) 会計監査は、学会の会計を監査する。
- 第11条 役員および評議員の任期は2カ年とする。会長および評議員は連続三選はできない。
- 第12条 本会の事務年度は暦年による。
付則 平成7年10月13日に第5条を改正し、平成8年1月1日から施行する。
付則 平成21年9月17日に第5条を改正し、平成22年1月1日から施行する。
付則 平成26年9月8日に第5条、第7条、第8条を改正し、平成29年1月1日より施行する。ただし、Genes & Genetic Systems の印刷体の送付を希望しない場合の会費減額は、平成30年4月1日より行う。
付則 平成29年9月12日に第5条を改正し、平成30年4月1日から施行する。

<p>Genes & Genetic Systems 第92巻6号（付録） 2018年4月27日発行 非売品 発行者 小林 武彦 印刷所 レタープレス株式会社 Letterpress Co., Ltd. Japan 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809-5番地 電話 082 (844) 7500 FAX 082 (844) 7800</p> <hr/> <p>発行所 日本遺伝学会 Genetics Society of Japan 静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所内</p>	<p>学会事務取扱 〒411-8540 静岡県三島市谷田・国立遺伝学研究所内 日本遺伝学会 http://gsj3.jp</p> <p>(電話・FAX 055-981-6736 振替口座・00110-7-183404 加入者名・日本遺伝学会)</p> <p>国内庶務、渉外庶務、会計、企画・集會、将来計画、編集などに関する事務上のお問い合わせは、各担当幹事あてご連絡下さい。 乱丁、落丁はお取替えます。</p>
---	---